

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、やや低い～かなり低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.2kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり11kgの水揚げで、前週の55%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり39kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり577kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり37kgの水揚げで、前週の79%（前年並み）。
- 定置網——対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり220kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり245kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり190kgの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/25日～7/30日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（北太平洋中央部付近で操業、日本海は能登半島周辺に操業船あり）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 2日延2隻、総計10箱、1航海最高7箱、平均5箱、スルメイカ（バラ入）1箱、ケンサキイカ（2立～5立）9箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>